

テキストデータの中の関連度・非関連度を色彩に置き換えて 認知・解析する技術について特許査定を取得

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）は、テキストデータの中の関連度・非関連度を色彩に置き換えて認知・解析する技術について特許を取得したことをお知らせします。

特許番号：特許第7376033号

出願日：2023年3月15日

発明の名称：情報処理装置及び情報処理方法

本技術は、テキストデータに含まれる単語や文章について、見つけたい内容への関連度・非関連度を色彩に置き換えて認知・解析するものです。さらに、AIによる解析精度がどの程度正しいかを自己検証します。

現時点では、FRONTEOの製品・サービスのうち、米国民事訴訟の公判手続きで必要となる証拠開示（ディスカバリ）において電子証拠開示（eディスカバリ）に係る文書レビューを支援するAIツール「KIBIT Automator」 (<https://legal.fronteo.com/products/kibit-automator/>) や、コンピューターなどのデジタル機器の記録を調査・分析・保全し、法的な証拠として用いるデジタル・フォレンジックのためのAIソリューション「KIBIT XAMINER」 (<https://legal.fronteo.com/products/xaminer/>)、不正検知AIソリューション「KIBIT Eye」 (<https://kibit.fronteo.com/products/kibit-eye/>) などに活用され、解析精度向上や業務効率化、作業時間・コストの削減などに貢献しています。今後、本技術をさらに多様な製品に展開させることにより、性能や機能の向上を図ることができると考えています。

FRONTEOは、革新的なAI技術の研究開発や社会実装、高品質のサービス提供を通じ、複雑かつ多様化する企業・社会の課題解決や発展の一助となるべく努めてまいります。

本件単独による業績への影響は軽微です。

■FRONTEO について URL: <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自社開発 AI エンジン「KIBIT（キビット）」を用いた多様な AI ソリューションと

サービスを提供するデータ解析企業です。「記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」ことを理念とし、膨大な量のテキストデータや複雑なネットワークの中から意味のある重要な情報を抽出して、専門家の高度な判断を支援する自然言語処理ならびにネットワーク解析技術を強みとしています。リーガルテック AI、ビジネスインテリジェンス、ライフサイエンス AI、経済安全保障の各領域で事業を展開し、さまざまな企業の課題や社会課題の解決に貢献しています。2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国、韓国、台湾で事業を展開。第一種医療機器製造販売業許可取得、管理医療機器販売業届出。資本金 3,042,317 千円（2023 年 3 月 31 日時点）。

※FRONTEO、KIBITはFRONTEOの日本における登録商標です。

<報道関係者のお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email: pr_contact@fronteo.com

<リーガルテック AI 事業に関するお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO リーガルテック AI 事業本部

<https://legal.fronteo.com/contact/>